

ワイン造りの実践的技術を歴史ある重要文化財のワイナリーで学ぶ 「日本遺産日本ワイン 140 年史ワインアカデミー」開講について

5月22日の定例記者会見でお知らせしたワインアカデミーが7月11日に開講し、アカデミー校長の沼田和利牛久市長出席のもと開講式を開催いたします。

また、開講当日はいばらき大使であり日本のトップ醸造家の安蔵光弘さんが講師を務められ、対面の受講生21名及びオンライン受講生28名に向けて、ワイン概論・ワインづくりについての講義が行われます。

是非ご取材ください。

開講の概要

日本初の本格的なワイン醸造場である牛久シャトーを有する牛久市では、その歴史を生かしたワインのまちづくりを進めています。その牛久市におけるワイン醸造、葡萄栽培に携わる関係者を育成することを通じた、ワイン産業の育成及び牛久市産ワインの認知度の向上を目的に、「日本遺産日本ワイン140年史ワインアカデミー」を開講します。

講師には、日本を代表する醸造家の一人であり、いばらき大使でもある安蔵光弘氏をはじめ、国内外のワイン業界で活躍する方々をお迎えします。

- 事業名 日本遺産日本ワイン140年史ワインアカデミー
- 会 場 牛久シャトー（茨城県牛久市中央 3-20-1）
- 開講日 2026年7月11日(土)
- 修了日 2027年3月6日(日)
- 開催日 土または日曜日 12:00～16:00
全23講座
- 主 催 ワイン文化日本遺産協議会
- 協 力 オエノンホールディングス(株)、
牛久シャトー(株)、(株)Vino Como



詳細は別紙パンフレットまたは
ワイン文化日本遺産協議会 HP をご覧ください。

<https://japan-wine-culture.jp/event/detail/56/>



ワインアカデミーのポイント！

明治 36(1903)年、日本で初めて本格的なワイン醸造場として建設された牛久シャトーで、ワイン造りやワインビジネス、日本ワインの歴史、ブドウ栽培、醸造技術、ビジネス等を実践的に学ぶアカデミーです。

- ①安蔵光弘氏(いばらき大使)はじめ、日本ワイン業界で最も活躍する著名な栽培家や醸造家による実践的な指導が受けられます！
- ②東京駅からおよそ1時間！ 牛久駅から徒歩8分の好アクセスの牛久シャトーにて学べます！
- ③座学と実習の両輪で、確かな技術を身につけます！
- ④「ワイン造り」と「経営」の両方が学べます！
- ⑤クラス会等を通して講師とのコミュニケーションはもちろん、楽しいワイン仲間ができます！

【カリキュラムの一例】

- ・ワイン概論、ワインづくりの考えかた（安蔵光弘氏(いばらき大使)）
- ・赤ワインの製造工程／白ワインその他の製造工程 ほか（安田政史氏(まるき葡萄酒)）
- ・日本ワイン140年史と牛久シャトー（ワイン文化日本遺産協議会）
- ・事業計画・販売・マーケットについて（有本雄観氏(CruX)）
- ・欠点臭の種類と発生原因 ほか（田村隆幸氏(メルシャン)）
- ・収穫体験、選果・除梗破碎(牛久シャトー園場にて実習)（塚本瞬氏(牛久シャトー)）
- ・酵母の起こし方など（太田光悦氏(牛久シャトー)）
- ・牛久市の支援（鷹羽伸一氏(牛久市副市長)）
- ・ワイナリー経営について（村田哲太郎氏(房総大井倉蒸溜所/新潟小規模蒸溜所)）
- ・【栽培】病害対策、雑草対策、雹害対策、光と熱対策 ほか（日向理元氏(ラグフェイズ)）
- ・害虫および生理障害について ほか（近藤修通氏(駒園ヴィンヤード)）
- ・産地選定のポイント(気候・地理・土壌など)（沼田実氏(キリノカヴィンヤーズ&ワイナリー)）
- ・仕立てと剪定方法(実習あり)（安蔵正子氏(カーヴアン)）
- ・酒税法・果実酒等の製法品質表示基準について必要書類等・GIについて（酒税担当(土浦税務署)）
- ・「ワインの虎」プレゼン（磯部美由紀氏(ワイン文化日本遺産協議会アドバイザー)）
- ・ワイン用ブドウの苗木について(接木実習あり)（須田上司氏(須田葡萄苗圃)）

お問い合わせ

○「日本遺産日本ワイン 140 年史ワインアカデミー」
に関すること

牛久市環境経済部シャトー再生推進課 日本遺産推進室
(ワイン文化日本遺産協議会)

担当:木本、飛鳥川、松本

☎029-869-7020

Email chateau@city.ushiku.ibaraki.jp

○発信元

〒300-1292 牛久市中央 3-15-1

牛久市市長公室広報広聴課

☎029-873-2111(内線 3221・3222)

Email kouhou@city.ushiku.ibaraki.jp